

想いがつながらる 新しいステージへ



町長 井俣憲治

4月24日執行の東郷町長選挙において2期目の町政を担わせていただくこととなりました。

町民の皆様へ寄り添い、笑顔あふれる東郷町を築きあげながら、東郷町の未来のための政策を真摯に、丁寧に、誠実に進めてまいります。

ご存じのとおり日本は、少子高齢化が進んでいます。

その様な中でも、名古屋市と豊田市に挟まれた東郷町を含む尾張東部地域

は、自動車産業の隆盛とともに人口の増加が続いてきました。

東郷町においても若い世代の流入とともに増加する税金により各種福祉施策の充実を図ってきました。しかしながら、デジタル技術の進歩とコロナ禍の影響によりテレワークの比重が大きくなりつつある中、従前のような地理的メリットが薄れる可能性を私たちは考慮しなくてはなりません。

これからも今までのような町民の皆様へ寄り添った施策を進めていくために、凝り固まった常識や前例に囚われることなく、より魅力のある施策により東郷町を選んでいたたく、転入人口の増加を図ることが大切なことと考えています。

「東郷町を市に」という言葉は、そのような想いを言い表しているものとお考えいただければと存じます。東郷町に住んでいてよかった、東郷町に引っ越して住んでみたい、そう思っていただけならまちづくりを、これまで以上に皆様のお声を大切にしつつ未来を拓いてまいります。

町民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

これまで、これからも。

全ては町民の皆様のために「しあわせ」のために。

オーガニック給食をスタートさせた時、全てのアレルギーに対応した給食をスタートさせた時、町立保育園にエイミー先生・エイプリル先生による英語活動をスタートさせた時、インターネットを使いオーストラリアの小学校と合同授業をスタートさせた時、コロナ禍で学校休業時、学習塾名進研の動画配信をスタートさせた時、こども議会を通じ、すべての小中学校の女子トイレに生理用品の配備をスタートさせた時、たくさんのマスコミに取り上げていただきました。

町外の多くの皆さんから「うちの子どもにも…お願いしたい」とお電話をいただきました。

「これらの施策は東郷町の皆様のための事業であり、東郷町にお住いいただければ大丈夫ですよ」とお答えしていました。

これからも東郷町に暮らす皆様のために。

「東郷町に住みたい」と思っていただけの方を1人でも多く増やしていきます。

町のにぎわいは暮らしに潤いをもたらす、笑顔あふれるまちに人々は集い、さらなるにぎわいは町の財政を豊かにします。そして暮らしはより潤い、人々はまたそこに集うのです。

東郷町を次のステージ「市」とするために一歩ずつ丁寧に歩みを進めてまいります。



子どもたちには無限の可能性が 있습니다。
子どもたちにしてあげたいこと。

それ、東郷町がやっています。

子どもたち
一人一人に目が届く
**30人学級
少人数授業**
を進めています

夢や希望に向かって
しっかり学ぶ
**学力支援
学習塾や大学などと
連携**
を進めています

病気で入院してしまった若者の
夢や希望を諦めさせない
県内外の大学生・
専門学校生などの
**入院医療費の
無料化**
を進めています

笑顔には人を幸せにする力があります。
こんな街に暮らしたい。

それ、東郷町がすすめています。

高齢者の皆さんにも
学ぶ楽しさをもう一度
学校で子ども達と同じ給食を食べ
歴史や算数・健康づくり
体育の授業を受けることができる
「(仮称)とうごう学び舎」
を展開していきます

いつまでも健康に
暮らせるよう
**がん検診の
診断料を支援**
していきます

広い公園のある景色
芝生広場・木陰 家族の笑顔
公園の築造
を進めています

高齢者の皆さんが
安心して医療を受けられるよう
初診費を支援
していきます

子ども達の世代まで守らなくてはならないもの。
産業、暮らしやすさ、そして美しい環境。

それ、東郷町がはじめます。

カーボンニュートラルを
推進する企業を応援すべく
**補助・支援金
制度を創設**
します

ごみ収集車で
**プラスチックごみを
週1回回収**
リサイクルを図ります

通学路を安全に
危険な交差点にはガードレールを
暗い道には防犯灯を
町の各地に桜並木を
**キレイで
歩きたくなる街**
を作っていきます